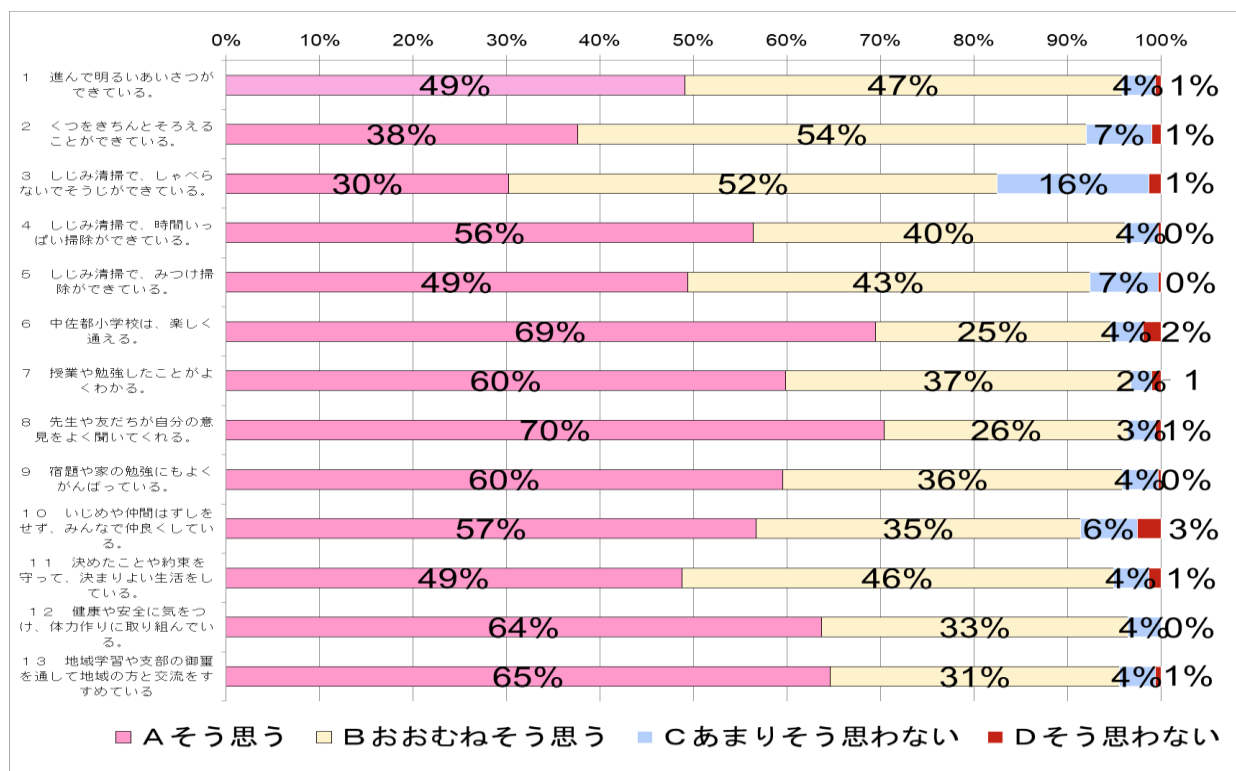


令和3年度 中佐都小学校学校評価報告書

令和4年1月24日

アンケート実施日 : 令和3年11月1日～9日
 回収率 : 児童96% 保護者99% 職員100% 学校関係者9名

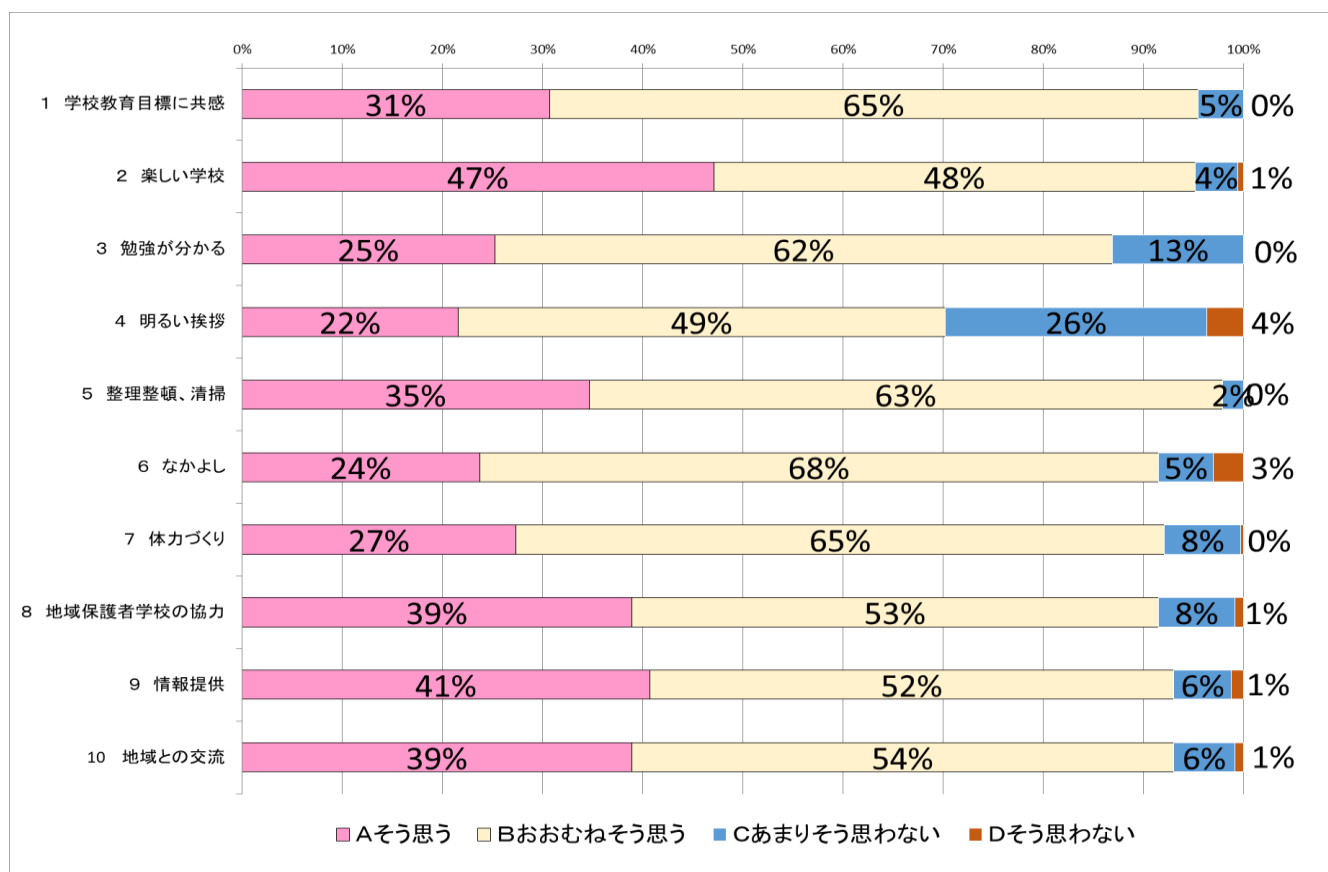
グラフ1: 令和3年度 児童(全校)のアンケート結果 >



【児童の結果の考察】

- 項目3「静かに清掃」について C 評価が多いものの、項目4「時間いっぱい掃除」と項目5「見つけて掃除」では、D のそう思わないと答える児童は0%である。このことから、真面目に掃除に取り組んでいる事がうかがえる。
- 項目6「楽しく通える」では、A 評価が昨年度より3%減少した。要因としてコロナ禍の中でも行事等がだいぶできるようになってきた反面で、行事に抵抗がある児童が含まれていることも考えられる。また、項目10「いじめや仲間はずし」では、児童の8%がCとDの評価をしている。個別の教育相談等を通して児童の気持ちに寄り添う支援をしていきたい。
- 項目13「地域との交流」では、コロナ禍の中で交流の場が減っていることが、C評価が多くなっている要因になっていると推測される。今後も地域の方との連携は大切に考えていきたい。
- 項目9「宿題・家庭学習」でCとDと答えている児童が昨年より若干減った。自宅での時間が多くなる分、家庭での学習の量や内容など各学年が工夫し、やり方等を含め丁寧に指導していた結果、前向きに取り組むことができたと考えられる。ただし、項目7の「授業が分かる」では、昨年と比べても大きな変化がみられない。学習への興味を高め、意欲的に追究に取り組める手だての工夫をしていきたい。
- 項目10「なかよし」や、項目11「決まりよい生活」は、A評価が増えC評価が減った。友だちを大切にしながら自分の居場所を作っている児童が増えている。ただし、D評価の児童がいることに教職員がきちんと目を向け、対話していくことが必要である。
- 全体的に見れば、昨年度より全ての項目についてAとB評価が増えている。A評価、B評価をあわせて90%を超えている。あいさつや清掃への取り組みは今後も大切にしていきたい。また、来年度、地域との交流がどこまで元に戻るかは未定であるが、地域とのつながりを大切にする中佐都小学校でありたい。

グラフ2:令和3年度 保護者(全校)のアンケート結果>



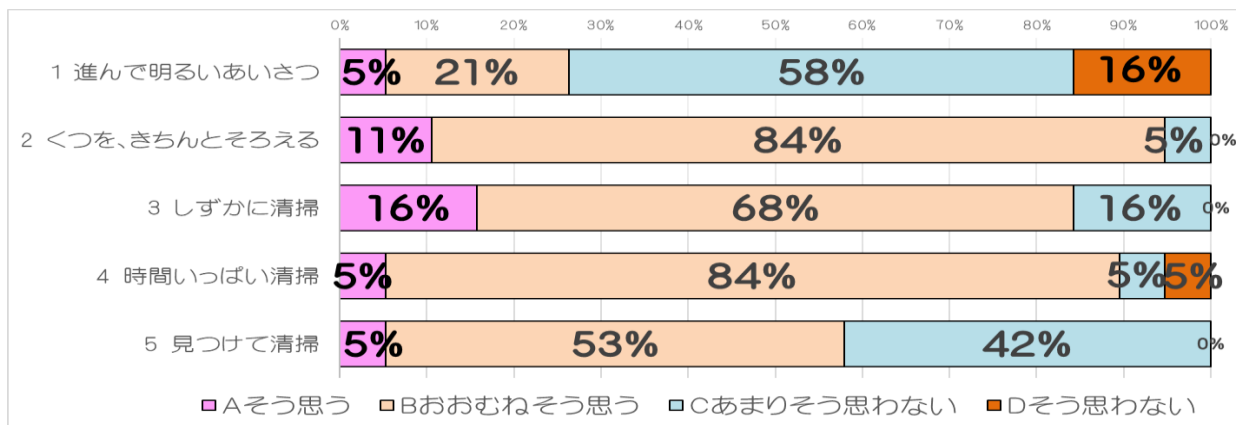
【保護者の結果の考察】

- 10の項目のうち8つの項目で肯定的な評価(A評価+B評価)が9割を上まわった。特に肯定的な回答が多かったのは、「整理整頓・清掃」(98%)「楽しい学校」(95%)「学校教育目標に共感」(96%)である。保護者のPTA作業への熱心な参加により、学校全体の環境美化がいつそう進められてきたことによることが一因にあると考えられる。
- 項目2「楽しい学校」については、「そう思う」と回答数が約半数に及び、全項目中最多であった。また、「学校教育目標に共感」についても95%の肯定的評価であった。各教育活動が「なかよし」「かしこく」「最後まで」「ふるさととともに」と関連して実践を重ねてきた結果であると推測される。
- 項目4「明るい挨拶」は肯定的な評価が約7割を占めている。子どもたちのよさを認め、子どもも保護者も教職員も心を開いた交流が持てるように学校から率先して「明るい挨拶」を行っていききたい。
- 「勉強が分かる」で肯定的な評価が87%と多いとはいえ、否定的な評価が13%で、昨年度よりも増加した。個に応じたきめ細かな指導ができるよう、日々尽力しているところでもあるが、原点となる「どの子どもできた、わかったと言える一時間ごとの授業実践」であると肝に銘じ、子どもたちに、勉強がわかることの喜びが感じられる授業改善に努めていきたい。
- 記述回答では、運動会や音楽会の開催時期、内容について多くのご意見やご提案をいただいた。今後、校内に行事内容の見返しについてプロジェクトチームを立ち上げ、保護者の声を取り入れながらよりよい方向を探っていききたい。また、子どもたちが主体的に活躍できるカリキュラム、安心して学校に登校できる環境作りに努めていきたい。

【自由記述欄から】

- ◇残り少なくなってきた学校生活を、最大限楽しめるように、また、コロナ禍で出来なくなってしまったことを取り戻せるように、子どもたちに色々な経験を積ませていただきたいと思います。
- ◇中止や縮小で問題なかったため、先生方や保護者の負担を減らすためにも、今後も中止や縮小でよいと思います。
- ◇SDGsに取り組んでみたらどうか。環境週間とか。探求的な学びを行い、お互いに展示したり発表したりしてみんなにみてもらうなどのイベントを設けたらどうか。

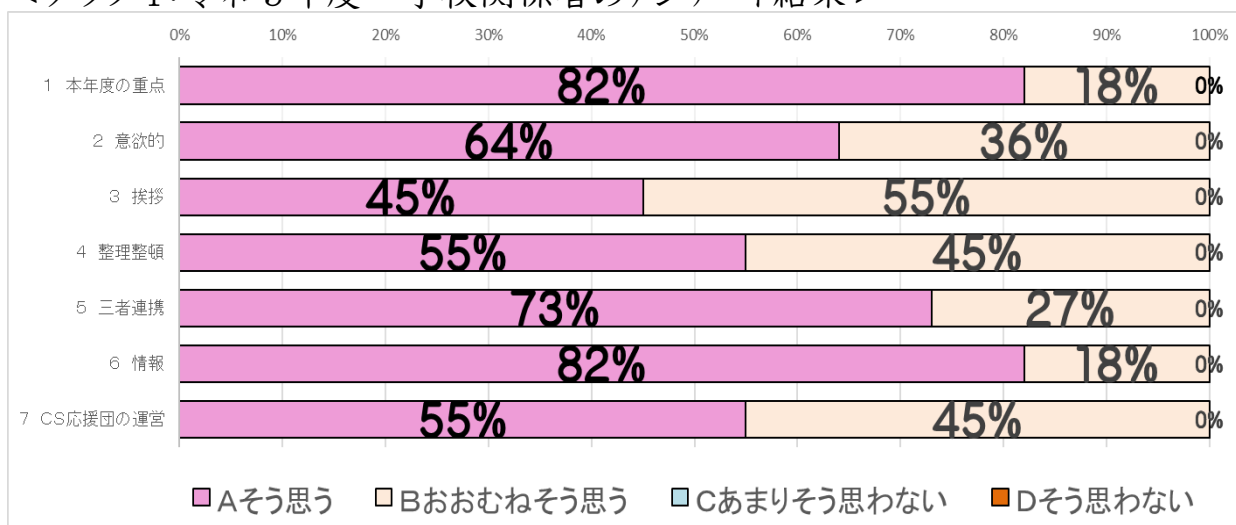
<グラフ3:令和3年度 職員のアンケート結果> ※児童の設問1～5に該当する項目のみ



【教職員の結果の考察】

- 項目1「進んであいさつ」では、児童と保護者との結果と大きな開きが見られる。昨年度はC及びD評価が79%、本年度は74%とやや改善はしたが、挨拶の声の大きさを気にしている教職員が多い。児童会のあいさつ運動等で大きな声で誰にでも挨拶できるように指導するとともに、教職員も児童、保護者、地域の皆様に気持ちの良い挨拶ができるようにしていく必要がある。
- 清掃は、日々の積み重ねであるので、個人差がとても大きいと思われる。時間いっぱい清掃に取り組む指導を行うとともに、清掃活動への振り返りを行うようにしていきたい。
- 項目2「くつをそろえる」に対する評価がAとBで95%である。整理整頓を心がける指導を続けるとともに、下駄箱の状況から児童の思いを察するよう今後も継続していきたい。

<グラフ4:令和3年度 学校関係者のアンケート結果>



【学校関係者の結果の考察】

- どの項目でもAまたはBの評価をいただいた。今後も、地域との連携を深めながら学校の運営に臨んでいきたい。さらに令和4年度は、withコロナに対応しながら、地域の講師を招いたクラブ活動を企画し、学校と地域がともに教育活動を行う場面を設定していきたい。

【自由記述欄から】

- ◇今年度は行事に参加してなくてみていないのでわかりませんが、子ども達は楽しそうに参加していた。コロナで諦めなければいけないことも多く、その中でも思い出に残る時間をたくさん作ってください。
- ◇コロナ禍の中でいろいろ工夫されていると思います。運動会は延期の中で実施されましたが、とても心に残る運動会でした。運動会の実施時期は熱中症等を考えて、春に移している学校もありますが、あえてこの時期もいいかなと思います。
- ◇コロナ後を見据えた学習環境はこれを契機に段々と整ってきていると思います。オンラインを含めたIT機材を使った教育および家庭、地域との連携方法の具体化や場を設定できるように検討願います。

<まとめ>

- ①課題がみられるものについては、令和4年度の学校運営に向けてプロジェクトを組織し、具体的な取り組みを決めだしていく。自由記述欄にも多様なご意見をいただいた。プロジェクトで検討し改善につなげていく。
- ②ここ数年、児童はあいさつについてはできていると思っているが、保護者や職員の評価は低い状態が続いている。本年度は改善の兆しが見え始めた。今後も引き続き、児童会と連携をとりながら、あいさつは言葉だけでなく、姿勢や声の大きさ、表情などいろいろな要素をとめない、相手に伝わるということを具体的に指導していく。
- ③「しじみ清掃」の実践を通し、児童が身の回りの整理整頓に心がける力を育てるとともに、学校全体の環境を見直し、安全で機能的かつ美しい環境をつくるよう更に努力していく。
- ④児童の気持ちに寄り添った指導を心がけ、わかる授業・楽しい学校づくりに向けて、授業改善を行っていく。
- ⑤ポストコロナの学校生活に向けて、ICTの推進をさらにすすめると同時に、個別最適化した学習環境を整え、楽しい学校づくりを進めていく。また、インクルーシブな視点を取り入れた学校運営、学級運営に努めていく。
- ⑥適切かつ効果的な行事の見直しを行い、教職員の働き方改革に努め、児童と向き合う時間を確保していきたい。
- ⑦児童、保護者、教職員、学校関係者のアンケート結果を総合的に検討し、令和4年度、および今後の中期的、長期的な改善案について検討を始める。

学校評価アンケートを受け、令和4年度に向け、以下のプロジェクトを立ち上げ学校運営の見直しを行った。また、中期的・長期的な視点から改善の方向について検討をはじめた。具体的な内容は以下に示した通りである。

<プロジェクト>

No.	プロジェクト名	内 容
1	「主体的な学びの創造」と「学力向上」	子どもが主体的に学ぶ授業改善や、どの子どもも「できた」「わかった」が実感できる授業づくりについて検討する。 ① 探究的な学びの促進について ② 家庭学習の見直しについて ③ 教科担任制の導入について ④ 朝ドリル・モジュールの活用方法について
2	みんなが楽しい学校づくり	子どもも職員も「楽しい学校」を実感するための方策について検討する。 ① 児童の多様性の尊重の促進について ② 日課の見直しについて ③ 職員研修のあり方について ④ 明るい職場作りの具体的な方法について ⑤ 抜本的な働き方改革の推進について ⑥ 学校施設の有効活用について
3	抜本的な行事の見直し	行事の時期、内容について思い切った見直しを検討する。 ① 運動会の種目について ② 音楽会の開催方法について ③ 地域と連携したクラブの準備について ④ その他行事の是非と内容について